

＜美濃加茂市 学校教育の方針＞

- ・「自己にきびしく 人にやさしい 心身ともにたくましい児童生徒」の育成
- 「学ぶ喜び 学び合う楽しさ」
- 「学校が楽しい！」
- 「自己有用感」「自ら創る健康」

＜学校の課題＞

- ・安全・安心で、信頼される学校づくり
- ・仲間に積極的に関わり、相手意識をもって自分の思いや考えを表現する力の育成
- ・一人一人の自己有用感を高める指導の充実

＜教育目標＞ **豊かな心とやりぬく力をもつ加茂野の子～考える子・優しい子・元気な子～**

＜目指す学校像＞ 「**安心・安全な学校づくり**」と「**自分のよさを出し切る学校づくり**」

＜考える子＞  
一人一人に確かな学力を付ける授業づくり

＜優しい子＞  
仲間から学び、互いに高まりあう仲間づくり

＜元気な子＞  
安全・安心で、メリハリとリズムのある学校生活づくり

＜重点＞（学習指導部）

- ・腰骨をたてて着席し、目で見て心で聴く自分づくり
- ・「出し切る」授業づくり⇒いつでもどこでも、自己表現できる自分づくり

＜重点＞（特活指導部）

- ・「自分から」元気よく大きな声であいさつできる自分づくり
- ・自分の居場所があり、心を開き、声を掛け合い共に高まりあう集団づくり

＜重点＞（健康指導部）

- ・朝ご飯をきちんと食べて安全に登校し、安全に下校する集団作り
- ・心を込めて真剣に掃除ができる自分づくり

「6年生＝加茂野小の顔」

「授業」で出し切る！

「あいさつ」で出し切る！

「安全な登下校」で出し切る！

○子どもの心に届く指導を貫く。

・どの子も、わかる（できる）ようになりたいと思って学校に来ている。

＜指導の段階＞

教える段階

- ・目指す姿（目的と目標）を、具体的に描かせる。
- ・内容や方法を、具体的に教える。
- ・そのことの意味や値打ちを、具体的に教える。

↓

鍛える段階

- ・そのことの意味・値打ちを考えさせる。
- ・よりよい方法を考えさせたり、工夫させたりする。
- ・繰り返して指導し、定着させる。
- ・「いつでも、どこでも、一人でも」できるようにさせる。

環境を整える

- ・ICTの活用
- ・花づくり、野菜作り

○児童について、よい事実をつくり、それを認めて価値づけ、方向づける。

・行動の結果のみをとりあげて評価するのではなく、どんな気持ちで取り組んでいるのか、過程や背景を大切に良さを認めて価値づけ、方向づける。

子供たちとの約束

- 先生たちは「あなたの大切な命を全力で守ります」
- 先生たちは「頑張ろうとするあなたを全力で応援します」
- 先生たちは「あなたのいいところをいっぱい見つけます」

＜学校経営の基盤＞

『チーム加茂野』：組織で動き、温かさと厳しさのある職員集団

- ・危機意識を常にもち、「報告・連絡・相談」ができる。
- ・抱え込まず、何でも相談しあう。SOSが出せる！

『コミュニティスクールの推進』：保護者・地域とともに歩む学校

- ・地域・保護者に信頼され、愛される学校⇒地域の名人に学ぶ！HPの活用！
- ・保護者・地域への丁寧な対応（フットワークを軽くして顔を見て対応）